



第 29 回群馬県理学療法士学会 プログラム集

- テーマ：「本質を知る～明日の臨床を変える第1歩～」
- 会 期：ラ イ ブ 配 信 2022年10月23日(日)
オンデマンド配信 2022年10月26日(水)-11月2日(水)
- 会 場：群馬大学医学部保健学科
- 学会長：富田 隆之 (医療法人 樹心会 角田病院)
- 主 催：群馬県理学療法士協会
- 後 援：伊勢崎市、玉村町

学会長挨拶

この度、第29回群馬県理学療法士学会を令和4年10月23日にオンラインで開催することになりました。当初は対面形式での開催を間近まで検討していましたが、今までに類を見ない感染力を見せる新型コロナウイルスの脅威に晒され、参加者の皆様の安全を優先してオンラインでの開催となりました。そのような状況の中でも45の一般演題が集まり、群馬県の理学療法士の熱意を肌で感じております。

さて、我々理学療法士は毎年1万人ほどが誕生しており、質の高い卒後教育体制の確保が必要となっています。日本理学療法士協会では、本年度より新しい生涯学習制度を推進しており、今後の発展が期待されています。

本学会では、理学療法士の質を高めることを目的に、テーマを「本質を知る～明日の臨床を変える第1歩」と致しました。

基調講演には、日本理学療法士協会会長の斎藤秀之氏をお招きして、「理学療法の過去と未来～本質を知り明日への第1歩を踏み出す～」というテーマで、新生涯学習制度がなぜ今必要なのか、その変革から求める理学療法士像についてお話しをいただきます。

教育講演には、青森県立保健大学の諸橋勇教授をお招きして、「脳卒中に対する理学療法の本質」というテーマでお話しをしていただきます。その他一般演題に加え、YouTube配信で地域住民を対象にした講演も玉村町地域包括支援センターの斉藤道子氏にお話しいただきます。

非常に豪華な講師陣とともに、ご参加いただく皆様と有意義な学会にしていきたいと思っております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

学会長 富田 隆之（医療法人 樹心会 角田病院）

協賛企業

- ・ 森永乳業グループ 病態栄養部門クリニコ
- ・ 株式会社群馬中央義肢
- ・ 学校法人 未来学園 前橋医療福祉専門学校
- ・ 医療法人 石井会 石井病院
- ・ 医療法人 恒和会 関口病院
- ・ 群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部

プログラム

	第1会場 (10/23:ライブ配信)	第2会場 (10/23:ライブ配信)	オンデマンド配信 (10/26～11/26)
9:20	開会式		市民公開講座 「元気で長生きする秘訣～ 99歳！山の先生に教わった こと～」 講師：齊藤 道子
9:30 -11:00	基調講演 「理学療法の過去と未来 ～本質を知り明日への第一 歩を踏み出す～」 講師：齊藤 秀之 座長：山路 雄彦		
11:10- 12:30	一般演題 口述Ⅰ (神経系・運動器) 座長：井上 大介	一般演題 口述Ⅱ (運動器) 座長：小保方 祐貴	
12:30- 13:20	休憩		
13:20	次期学会長挨拶		
13:30- 14:30	教育講演 「脳卒中患者に対する理学 療法の本質とは」 ～何が問われ、我々は今何 をなすべきか～ 講師：諸橋 勇 座長：富田 隆之		
14:40- 16:00	一般演題 口述Ⅳ (神経系・基礎) 座長：富田 洋介	一般演題 口述Ⅴ (生活環境支援) 座長：篠原 智行	
16:10- 17:20	一般演題 口述Ⅵ (教育管理) 座長：柴 ひとみ	一般演題 口述Ⅶ (運動器・基礎) 座長：田口 昌宏	
17:30 17:40	表彰式 閉会式		

*オンデマンド配信期間

各講演・口述発表：2022年10月26日(水)-11月2日(水)

市民公開講座：2022年10月26日(水)-11月26日(土)

各講演内容

〈基調講演〉



「理学療法の過去と未来

～本質を知り明日への第一歩を踏み出す～

講師：齊藤 秀之 先生

日本理学療法士協会 会長

座長：山路 雄彦

我が国に理学療法士が誕生して半世紀が過ぎた。私見であるが、これからの理学療法の成長の理想は、理学療法の原点を守りながら、社会変革に対応し、社会的価値の創造を成し遂げる事と考える。

本会創立時から我が国の理学療法の課題としては、「名称独占と業務独占」、「医師による指示監督のあり方」「教育期限の4年制化」「生涯学習制度」「科学化」「政治活動」「理学療法の定義の再考」などがある。これらは、教育、研修、法律、政治に収束される。

未来、そして明日への第一歩を踏み出すに際し、本会として上記の課題解決を歴代会長のもとで粛々と取り組んできた中で一定の解決を得たこと、そして未だ解決していない課題があることを会員と共有すべきと考えている。

〈教育講演〉



「脳卒中患者に対する理学療法の本質とは」

～何が問われ、我々は今何をなすべきか～

講師：諸橋 勇 先生

青森県立保健大学 健康科学部 理学療法学科 教授

座長：富田 隆之

本質行動学者の西條剛央氏は、「物事が本質から外れると必ずうまくいかなくなる」と述べている。現在の理学療法現場の閉塞感や治療効果に懐疑的な意見も聞くことがある。技術の平準化、マニュアル化が進めばサービスの質は担保される一方で、理学療法士自身の独自性の探求が疎かになっている側面もある。考えるに、論文などの知見、エビデンスと臨床現場でやっていることに「距離」という視点を加える必要がある。本、論文、学会、研修会などからの知識が現場ですぐに使えないことは良くあり、そこに理学療法士が本当にやるべき事が隠されているような気がする。前出の西條氏は、「本質とは誰かの知見や知識ではなく、自分で批判し、検証し自分でつかみ取り、探求していくもの」と述べている。まさに理学療法技術も同様に、他者から得られるものと自ら探求しているものに分ければ、確実に後者が不十分な気がしてならない。講演の中で、理学療法の本質と今我々がなすべきことを、皆さんと一緒に考えたい。

〈市民公開講座〉

「元気で長生きする秘訣～99歳！山の先生に教わったこと～」

講師：齊藤 道子 先生

地域包括支援センターやくば 玉村町健康福祉課高齢政策係

私は、現在理学療法士として玉村町役場健康福祉課に勤務し、介護予防事業、認知症関連事業、生活支援体制整備事業（協議体）を担当、日々地域の高齢者、人生の大先輩方と一緒に楽しく活動させて頂いております。

「元気で長生きする秘訣」を日々考える中で出会ったのが、山登りがご縁で知り合った、99歳の山の先生です。笑顔が素敵な方で、その存在は新緑の山のようにです。健康寿命の延伸が課題となる中、先生に普段どのような生活をしていらっしゃるか、又その中で大切な事とは、を伺いましたので、今回はそれをご紹介しますと思います。

一般演題プログラム

<第1会場>

口述発表Ⅰ 神経系・運動器理学療法

11:10-12:30

座長 井上 大介 先生

株式会社 Calm Living Design

A-1, 遷延化した Lateropulsion を示した小脳梗塞例に対する理学療法経験

美原記念病院 大山 永晃

A-2, 急性期脳卒中患者における Fugl-Meyer Assessment 下肢運動項目の予測的妥当性の検証

沼田脳神経外科循環器科病院・群馬大学大学院 武田 廉

A-3, 拡散テンソル画像による皮質脊髄路の健全性の評価が脳卒中後運動麻痺の予後予測に有用であった2症例

老年病研究所附属病院 小山田 知弘

A-4, 従来の方法と新たな方法での Minimalclinically important difference (MCID) の検討-亜急性期脳卒中患者の6分間歩行距離での検証-

群馬パース大学 林 翔太

A-5, 亜急性期脳卒中片麻痺者の体幹加速度由来歩容指標の歩行自立度との関連

沼田脳神経外科循環器科病院 谷 友太

A-6, HAL®自立支援用単関節タイプによる非麻痺肢の生体電位を利用した麻痺肢訓練が有効であった慢性期脳卒中患者の一例

角田病院 高草木 信太郎

A-7, 変形性膝関節症患者の階段降段時の疼痛に関連する因子について

慶友整形外科病院 川田 菜摘

<第2会場>

口述発表Ⅱ 運動器理学療法

11:10-12:30

座長 小保方 祐貴 先生

東前橋整形外科病院

B-1, Elbow Push Test 陽性・陰性時の筋活動の違いについて

慶友整形外科病院 木村 一允

B-2, 上肢 Plyometrics exercise の有効性の検討

慶友整形外科病院 保科 諒真

B-3, 人工膝関節全置換術における時期別の関節可動域についての検討～両側 TKA と片側 TKA の比較～

慶友整形外科病院 平井 祐輝

B-4, 大腿骨近位部骨折患者における自己効力感と身体機能との関連性

石井病院 竹内 翔太

B-5, 人工股関節全置換術後患者の膝関節伸展筋力の変化量が術後2週の移動能力や在院日数に与える影響

慶友整形外科病院 長谷部 将来

B-6, 運動力学的負荷からみた上肢 plyometrics exercise の安全性の検討

慶友整形外科病院 中林 巧

B-7, 健常者における膝関節屈曲および脛骨回旋時のハムストリングスの筋活動について

慶友整形外科クリニック 鎌水 圭太

<第2会場>

口述発表Ⅲ 神経系理学療法 13:30-14:30

座長 高草木 信太朗 先生 角田病院

C-1, 筋力トレーニングにより歩行耐久性の向上を認めた重症筋無力症症例

美原記念病院 並木 悠夏

C-2, 重度頸椎症性脊髄症に対して、手指機能と歩行能力の向上を目標に運動療法を施行し、復職した症例

石井病院 清水 明人

C-3, 脳卒中患者に対する歩行ロボット介入前後の股関節可動性変化

群馬リハビリテーション病院 坂本 敦

C-4, 多発性脳梗塞により重複障害を呈した患者に対し、早期から段階的難易度調整立位スケールによる立位練習と免荷式歩行器による歩行練習を施行し、基本動作能力が向上した症例

沼田脳神経外科循環器科病院 小川 嘉彦

C-5, Keegan 型により肩関節近位筋の筋力低下を呈した症例の就労動作獲得までの過程

石井病院 石井 秀一郎

<第1会場>

口述発表Ⅳ 神経系・基礎理学療法 14:40-16:00

座長 富田 洋介 先生 高崎健康福祉大学

D-1, 静的ストレッチ実施による先行随伴性姿勢調節への影響

渋川伊香保分院 津川 翼

D-2, 回復期病棟入棟時の脳卒中患者の歩行自立に関する臨床予測ルール

日高リハビリテーション病院 齋藤 悠斗

D-3, 頸髄損傷患者へ対する歩行神経筋電気刺激装置ウォークエイド®を用いた自主練習の効果

角田病院 吉田 光希

D-4, 心原性脳梗塞にて左片麻痺を呈した患者に対し、複数筋への神経筋電気刺激を行い歩容の改善がみられた一症例

日高病院 田屋 七海

D-5, 脳卒中片麻痺患者に足首アシスト装置を使用すると時間的歩行周期変動は変わるのか～Reha Gaitを用いた計測～

群馬リハビリテーション病院 相場 雅弥

D-6, 麻痺側股関節周囲筋の筋出力低下に対し、随意運動介助型電気刺激装置 (IVES)を併用した短期的介入により、歩行能力が向上した亜急性期脳梗塞片麻痺症例

沼田脳神経外科循環器科病院 坂本 寛太

D-7, 当院急性期病棟患者におけるリハビリ開始時 FIM を用いたゴール提示の有効性

日高病院 リハビリテーションセンター 高橋 悠

<第2会場>

口述発表V 生活環境支援理学療法 14:40-16:00

座長 篠原 智行 先生 高崎健康福祉大学

E-1, 退院前後の身体活動量のフィードバックと生活指導により円滑な復職に至った冠動脈バイパス術後症例
沼田脳神経外科循環器科病院 橋本 亜佐美

E-2, 回復期病棟から自宅に退院した患者の生活範囲の調査—前橋周辺地域における検討—
老年病研究所附属病院 小林 将生

E-3, 当院における心不全患者に対する SNS アプリを用いた遠隔介入の紹介
群馬県立心臓血管センター 風間 寛子

E-4, 回復期リハビリテーション病棟に入院した整形外科疾患患者の入院中の身体活動量と退院後生活空間との関連性—pilot study—
公立七日市病院 小林 壮太

E-5, 起立性低血圧による臥位傾向患者に対して、仰臥位用エルゴメーターを中心とした介入により、身体機能が維持できた症例
榛名荘病院 竹内 棟熙

E-6, スーパーにセルフサービスによる握力測定コーナーを設置した介護予防活動の取り組み
榛名荘病院 塩浦 宏祐

E-7, めまい平衡障害患者におけるサルコペニア有病率
群馬パース大学 加茂智彦

<第1会場>

口述発表VI 教育管理理学療法 16:10-17:20

座長 柴 ひとみ 先生 群馬医療福祉大学

F-1, 介護老人保健施設勤務者の腰痛・肩こりと職場や業務に対する認識の関係について
群馬パース大学・介護老人保健施設あけぼの苑 田辺 将也

F-2, 当法人におけるキャリア支援に向けた調査
上牧温泉病院 金城 拓人

F-3, リハビリテーション職のヘルスリテラシーの実態調査と今後の腰痛予防介入における方向性
榛名荘病院・群馬大学大学院 柳澤 海志

F-4, ロボットリハビリテーション体験前後の職員の意識変化に関して
群馬リハビリテーション病院 青柳 健

F-5, 医療従事者に対する昼休みのピラティス体験の取り組みと効果
榛名荘病院 藤井 菫

F-6, リハビリキャリアラダーの作成と今後の課題
東前橋整形外科病院 小保方 祐貴

<第2会場>

口述発表Ⅶ 運動器・基礎理学療法

16:10-17:20

座長 田口 昌宏 先生

石井病院

G-1, 靴型スマートセンサーによる歩行分析

群馬パース大学 橋口 優

G-2, データベース管理における評価結果の入力率向上に向けた取り組みの効果検証

日高リハビリテーション病院 原田 大樹

G-3, チームで FIM 運動項目を予測する精度を高めるために FIM 認知項目はどのように捉えたら良いか

群馬リハビリテーション病院 山崎 紳也

G-4, 腰椎術後早期の高齢者における身体活動量、運動恐怖および健康関連 quality of life の関連性

榛名荘病院 贅田 高弘

G-5, 介護老人保健施設高齢者における施設版 FallEfficacy Scale の妥当性についての検討

JCHO 群馬中央病院附属介護老人保健施設 岩本 英了

G-6 外側進入型人工足関節置換術に対する理学療法を行った一報告

東前橋整形外科病院 小林 亮太

生涯学習ポイント・点数等の付与について

●登録理学療法士：

登録理学療法士更新のためのポイント

【要件1】 ポイントの取得	カリキュラムコード	履修 ポイント	対象者
④学会への参加	3 理学療法概論	6.5	学会参加者
③研修会・講習会・ワーク ショップ等の受講	1 プロフェッショナリズム	1.5	基調講演参加者
	79 脳血管障害後遺症	1	教育講演参加者

専門理学療法士取得のための要件

要件	時間	対象者
3. 都道府県学会参加	6.5	学会参加者

●認定・専門理学療法士：更新のための点数

大項目	項目	履修 点数	対象者
1. 学会参加	1) 都道府県士会主催の学術大会 (以下「都道府県学会」)	6.5	学会参加者
2. 講習会・研修会 の受講	3) 都道府県士会主催の研修会	1.5	基調講演参加者
		1	教育講演参加者
4. 学会での発表等	1) 「都道府県学会」の一般発表 (指定演題を含む)の筆頭演者	20	一般演題の筆頭演者
	2) 「都道府県学会」での講演 講師・シンポジスト・パネリスト	20	基調講演の講師 教育講演の講師
	3) 「都道府県学会」での座長 (司会・ファシリテーター含む)	10	座長

※「学会参加」は、登録理学療法士更新のためのポイント、専門理学療法士取得のための要件、認定・専門理学療法士更新のための点数のいずれかを選択。

※「基調講演・教育講演」は、登録理学療法士更新のためのポイント、認定・専門理学療法士更新のための点数のどちらかを選択。

●推進リーダー：マイページより推進リーダーへの登録がされている会員は履修対象。

群馬県理学療法士協会所属で学会参加の確認ができましたら、要件を満たします。

推進リーダー	要件	対象者
介護予防推進リーダー 地域ケア会議推進リーダー	士会指定事業の参加	学会参加者

●前期研修・後期研修履修中：本学会における単位の付与はありません。

領収書の発行について

(1) 群馬県理学療法士協会会員

マイページ内の「お支払い管理」→「お支払い履歴・領収書発行」よりPDFでダウンロードが可能です。

(2) (公社) 日本理学療法士協会会員

学会参加費の領収書発行を希望する方は、学会メールアドレス (gpta29tnd.2022@gmail.com) まで直接お問い合わせください。その際、①会員番号 ②氏名 ③フリガナ ④所属先 ⑤メールアドレス ⑥領収書の宛名 ⑦郵送先を記載してください。領収書は学会事務局が作成し、学会終了後に郵送いたします。

(3) (公社) 日本理学療法士協会非会員の PT、理学療法養成校在籍の学生(理学療法士の資格を有している方は該当しません)、他医療従事者

※振り込み時に発行されます振込明細は必ず手元にとっておいてください。振り込み明細をもって領収書の発行に変えさせていただきます。

出張許可願について

学会参加の出張許可願の発行を希望する方は、学会メールアドレス (gpta29tnd.2022@gmail.com) まで直接お問い合わせください。その際、②氏名 ③フリガナ ④所属先 ⑤メールアドレス ⑥出張許可願の宛名 ⑦郵送先を記載してください。後日、学会事務局が作成し、郵送にて送らせていただきます。

学会サイト内のコンテンツの著作権について

- 1 第 29 回 群馬県理学療法士学会に関わる配信データに関して、資料の不正なダウンロード、撮影・録音(スクリーンショットを含む)、ダイレクトデータの SNS への投稿は一切禁止します。
- 2 ID 及びパスワードを他人に教えることや譲渡することは禁止します。
- 3 著作権者からの許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

WEB 開催に向けた準備

WEB 開催の研修会参加にあたり、参加者（以下、受信者）についての推奨受講環境を示します。

1. 受信者の受講環境

パソコン (PC) からの参加を推奨します。不具合が発生する場合があるため、スマートフォン、タブレットでの参加は推奨しません。

(1) パソコン (PC) での受講

PC 推奨環境：Windows10、Windows8、Windows7、MacOS X と MacOS10.9 以降

推奨ブラウザ：Windows：IE11、Edge12、Firefox27、Chrome30

Mac：Safari7、Firefox27、Chrome30

(2) ウェブカメラ (PC 付属カメラ含む)

(3) 音声マイク (PC 付属マイク含む)

Bluetooth ヘッドセットは長時間の講習では充電不足が懸念されるため、有線イヤホン・ヘッドセットを推奨します。

(4) インターネット環境

長時間の研修のため、通信制限等がかからないインターネット環境がある場所から参加をお願いします。

(5) 集中できる受講環境

自身が発言しても問題がなく、生活音等が入ってこない場所から受講することが望ましいです。

【重要】同じ場所（会議室等）から複数人が参加する場合

- ① 一人一台の端末での参加を推奨します
- ② ハウリング防止のためイヤホンマイクを使用します
- ③ 距離を離れた配席：参加者の距離が近いと、他者の音声を拾う可能性があります

2. 【重要】参加までの流れ

(1) 事前に Zoom をダウンロードしてください。

■PC 版アプリのダウンロード <https://zoom.us/download>

(2) 必ず接続テストをしておいてください。

■Zoom のテストアクセス <http://zoom.us/test>

→初めて Zoom を利用する方は、必ず接続テストをお願いします。

→音声がかきこえない、画像が流れない等のトラブルを未然に防げます。

→参加者の通信トラブル・機器トラブルで参加できない場合の責任は負いかねます。

3) 通信環境のよい場所でご参加ください。

→カメラオン（ご自身の顔を映した状態）での参加となります。

→移動中の参加はお控えください。

→参加中の音声は、演習時以外は、ミュート（マイクをオフにする）でお願いします。

→ご家庭からご参加の方は、環境音（犬の声、子供の声、テレビの音等）が入らない環境整備をお願いします。

→職場からご参加の方は、会議室等、集中できる環境を整えてください。

→同じ場所から、複数名で参加する場合は、イヤホンマイク等が必須です。ハウリングを防止するため、必ずご用意ください。

→イヤホンを使用する場合、有線をお願いします。Bluetoothは長時間の使用のため、充電がなくなる可能性があります。

3. セキュリティに関して

職場のセキュリティ環境により、WEB 会議システムへのアクセスが制限されている場合があります、演習場面で機能制限をされる可能性があるため、事前に制限がないことを確認しておいて下さい。

4. トラブルシューティング【通信が不安定になる4つの原因と解決策】

(1) 通信環境が遅い

高速インターネットがある環境から配信する

無線 Wi-Fi より有線 LAN で配信する

スピードテストを実施する。 インターネットで「スピードテスト」と検索するとスピードを計測できるサイトがあるので、速度を確認しておく

※目安：普通に使えるのが 10Mbps 以上。10Mbps を下回ると不安定になる可能性あり

通信が遅いと感じる場合、通信環境を変える等の対策を考える

(2) パソコンの不具合・スペック不足

前記の推奨スペックの機材からアクセスする

講習に使用するソフト以外は、閉じておく

ダウンした際に代用できる PC を用意しておく

(3) WEB 会議システム自体の問題

稀にサーバーの問題で WEB 会議システム自体が落ちることがある。不可抗力の原因で落ちることもあるため、システムが落ちた場合は、当初の URL からアクセスし直す

(4) 停電が起きる

職場や自宅周辺の電気工事が無いか確認しておく

雷による停電に備え、雷ガード等で対策を行っておく

第29回群馬県理学療法士学会 準備委員会 事務局
〒370-1133 群馬県佐波郡玉村町上新田675-4
医療法人 樹心会 角田病院
TEL:0270-65-7171 FAX:0270-65-9829
e-mail:gpta29tnd.2022@gmail.com